

介護食の調理トレーニングなどを行う一般社団法人ゆにしあ（山形市、池田百合子代表理事）は子どもからお年寄りまで食べやすいオリジナルレシピをまとめた冊子を製作した。「家族団らんレシピ」と題し、「食べる機能が低下した高齢者がいる家庭でもみんなで同じメニューを食べてほしい」との思いを込めている。

山形・社団法人ゆにしあ

ゆにしあは、自宅介護をサポートしようと、介護をする家族に対して食事介助や調理のトレーニングを行つている。利用者の希望に応じてオリジナルレシピを開発しており、今回はそうした成果をまとめた。レシピを開発する際はなるべく特殊な食材は使わず、スーパーで買える物にこだわっている。

レシピ集には「歯のトラブルなどでちょっと食べにくいい」といった軽度の状態に合わせた人気の7品を掲載。ホワイトソースを絹こし豆腐で



子どもも高齢者も食べやすいレシピ7品を掲載した冊子

家族団らんの食卓 応援

代用した「かぼちゃの豆腐グラタン」、とろみがあつて食べやすい「ワンタンかき玉スープ」、柔らかくて甘みたっぷりの「焼きバナナ」、栄養バランスと消化がいい「うどん入り茶碗（わん）蒸し」などの材料や作り方を説明している。訪問サポートをはじめ電話相談など各種活動を紹介するページを設けた。

A5判で18ページ。日本財団の助成を受けて3千部を製作した。1日に天童市で開催した法人設立2周年を記念し、支援者に感謝する集いでお披露目した。集いには約40人が出席し、活動報告や利用者の体験発表などが行われた。レシピ集は無料で配布している。

問い合わせは、ゆにしあ023(666)6244。

世代超えて 食べやすい レシピを冊子に

上山市の高齢者や旅の随想
10代で油絵を始めた作
は、現在は口掛け、市内で
タウン誌「日

業木村輝子さ
かれている。

同市上生尾

に2012年
掛け、市内で
タウン誌「日